



七五三 クイズの答えと解説

第1問

答え：③ 江戸時代

平安時代から行われてきた「髪置き」「袴着」「帯解き」の3つの別々の儀式が、江戸時代に「七五三」として、まとめてお祝いされるようになったようです。それが11月15日になった理由は諸説ありますが、徳川綱吉の子、徳松の健康を祝う行事が行われた日だから、という説もあります。

第2問

答え：② 髪を伸ばす

平安時代、貴族の子供は男女とも三歳までは髪を剃って育てる風習があり、「髪置きの儀」を機に初めて伸ばし始めました。



この儀式では、「白髪になるまで長生きできるように」と、糸で作った白髪を子供の頭に載せて櫛で梳いたそうです。

第3問

答え：① 20～30年

「鶴は千年」と言われますが、野生のタンチョウなどの鶴は20～30年ほど生きとされています。飼育下では60年以上生きた記録もあります。千歳飴(ちとせあめ)は、その長寿にあやかり、子どもが末永く元気に育つようにと願いを込めて、鶴と亀の絵柄が描かれています。ちなみに、亀は、ゾウガメなど、100年以上(200年近くも)生きる種類もいるそうです！

